



2020年3月号



最近の県内経済は、消費増税の影響が残るなか、緩やかな回復基調にあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大による悪影響が懸念される。

<p><b>個人消費</b></p>	<p><b>個人消費は、底堅いものの弱さも見受けられる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比 0.7%減と2カ月連続のマイナスとなった。百貨店が同 2.0%増、スーパーが同 1.3%減となった。</li> <li>・1月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比 1.0%減となった。その他の小売業態(全店ベース)は、家電大型専門店が同 4.1%増、ドラッグストアが同 5.1%増、ホームセンターが同 1.3%減となった。</li> <li>・1月の乗用車販売は、登録車では普通乗用車が前年同月比 0.3%増と4カ月ぶりのプラス、小型乗用車は同 2.9%減と4カ月連続のマイナスとなった。届出車の内、乗用車は同 0.8%増と4カ月ぶりにプラスとなった。この結果、乗用車の合計販売台数は同 0.6%減の 2,757 台と4カ月連続で前年割れとなった。</li> </ul>
<p><b>住宅投資</b></p>	<p><b>住宅投資は、減少。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.5%減の5カ月連続のマイナスとなった。持家が同 12.4%減、貸家が同 59.8%減、分譲住宅が同 1.9%増となった。</li> </ul>
<p><b>公共投資</b></p>	<p><b>公共投資は、増加。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の公共工事請負額は、全体で前年同月比 81.2%増の70億200万円となり、5カ月連続のプラスとなった。国(含む独立行政法人等)が同 39.7%減、県が同 37.0%増、市町村が同 345.9%増となった。</li> </ul>
<p><b>一次産業</b></p>	<p>〔農業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の発表によると、2019年県産米の相対取引価格(2020年1月)は、「つがるロマン」が前年同月比 0.3%上昇の1万5,038円、「まっしぐら」が同 0.9%上昇の1万4,665円となった。</li> <li>・2019年県産リンゴ販売は、1月の県外出荷量が前年同月比 14.1%減、消費地市場価格は同 16.8%上昇し、県外市場販売額は同 2.7%減となった。</li> </ul> <p>〔漁業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 19.4%減、金額は同 22.9%減だった。</li> </ul>
<p><b>生産活動</b></p>	<p><b>生産活動は、足元低下。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比 6.9%低下の102.9となり、4カ月ぶりに低下した。生産用機械、輸送機械、業務用機械、鉄鋼業、パルプ・紙などが低下した。</li> <li>・原指数では、輸送機械、業務用機械、食料品、鉄鋼、電気機械、パルプ・紙などが低下し、前年同月比 3.4%低下の106.4と3カ月連続で前年同月を下回った。</li> </ul>
<p><b>設備投資</b></p>	<p><b>設備投資は、足元低下。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比 67.8%減の7,147㎡となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。</li> </ul>
<p><b>雇用動向</b></p>	<p><b>有効求人倍率は、高水準を維持している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月の有効求人倍率は、1.12倍となった。前月比 0.11ポイント低下し、依然として高水準が継続している。</li> </ul>

# 一次産業

## 米

「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月上昇

農林水産省が発表した「2019年産米の相対取引価格・数量(2020年1月)(速報)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比0.3%上昇の1万5,038円、「まっしぐら」は同0.9%上昇の1万4,665円となった。

全銘柄平均価格は1万5,824円となり、前月比0.5%上昇、前年同月比0.7%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」2万980円であった。前年同月比で見ると、上昇幅が大きかったのは、新潟「コシヒカリ(佐渡)」(4.5%)、北海道「ゆめぴりか」(3.8%)、山口「ひとめぼれ」(3.5%)、新潟「コシヒカリ(岩船)」(3.5%)などであった。

### ● 2019年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	19年9月	19年10月	19年11月	19年12月	20年1月	前月比	19年1月	前年同月比
青森	つがるロマン	15,053	14,870	15,097	15,151	15,038	-0.7	14,994	0.3
	まっしぐら	14,805	14,482	14,747	14,701	14,665	-0.2	14,540	0.9
岩手	ひとめぼれ	15,459	15,347	15,466	15,217	15,399	1.2	15,399	0.0
宮城	ひとめぼれ	15,653	15,601	15,610	15,513	15,502	-0.1	15,807	-1.9
秋田	あきたこまち	15,814	15,851	15,832	15,855	15,879	0.2	15,745	0.9
山形	つや姫	18,674	18,520	18,555	18,631	18,642	0.1	18,364	1.5
北海道	ななつぼし	15,948	15,790	15,838	15,849	15,954	0.7	15,925	0.2
北海道	ゆめぴりか	17,115	17,094	16,826	16,901	16,969	0.4	16,348	3.8
全銘柄平均価格		15,819	15,733	15,690	15,745	15,824	0.5	15,709	0.7

資料出所:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

(注)相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格)を加重平均。

## りんご

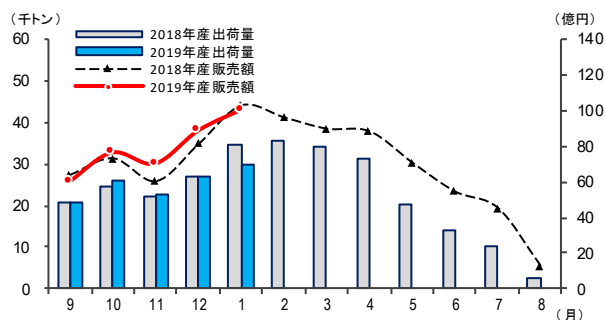
県外市場販売額、前年同月比2.7%減

2019年県産りんご販売、1月の県外出荷量は前年同月比14.1%減の2万9,907トンとなった。これは平年の1月出荷量を13.9%下回る水準である。消費地市場価格は全種平均で、前年同月比16.8%上昇、平年比較で14.5%上昇の348円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比2.7%減、平年比較では1.8%減の99億9,200万円となった。

2019年産県産りんごの1月の消費地市場価格は、ギフト向けの上位等級品の出荷が落ち着いたものの、入荷量が前年及び平年より少なく、食味の評価も高いことから大幅な高値が続いている。

(注)平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

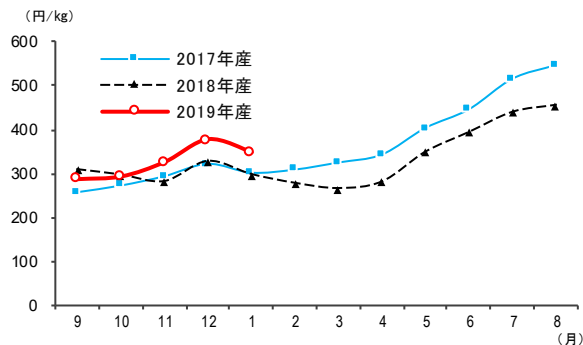
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所:県りんご果樹課

(注)出荷量:生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額:小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所:県りんご果樹課

# 一次産業

## 海面漁業

漁獲数量、金額とも前年同月比減少

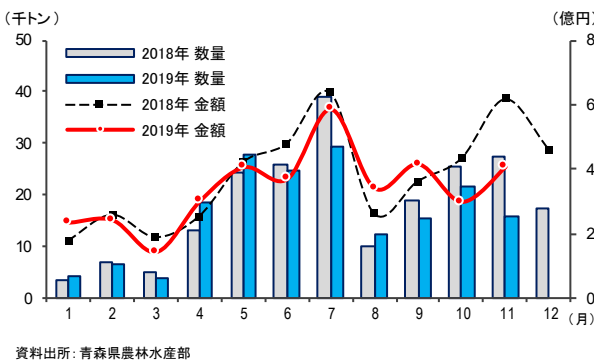
11月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比42.4%減の1万5,796トン、漁獲金額は同34.4%減の40億6,055万円となった。前年同月に比べ、スルメイカ(近海・生)等が増加したものの、マイワシ、サバ、サケ等が減少したことなどが影響した。

魚種別にみると、「魚類」は、ブリ等の水揚げが増加したものの、マイワシ、サバ、サケ等の水揚げが減少し、数量が前年同月比44.7%減の1万3,791トン、金額は同40.9%減の23億6,825万円となった。

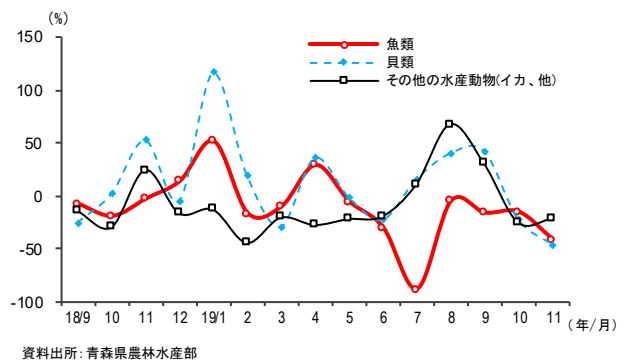
「貝類」は、ホタテガイ(成貝)等の水揚げが減少し、数量が同54.9%減の151トン、金額は同46.0%減の9,627万円となった。「その他の水産動物」は、スルメイカ(近海・生)等の水揚げが増加したものの、スルメイカ(近海・船凍)等の水揚げが減少し、数量が同12.1%減の1,680トン、金額は同20.7%減の15億2,563万円となった。

(注：青森県海面漁業月別漁獲数量・漁獲金額調査月報12月分が未公表のため11月分を掲載)

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



### ● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



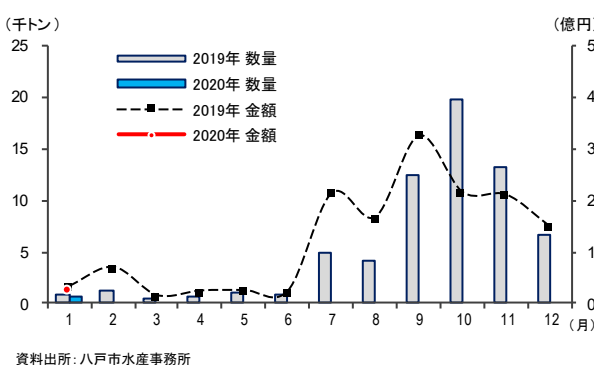
## 八戸港水揚げ

漁獲数量、金額とも前年同月比減少

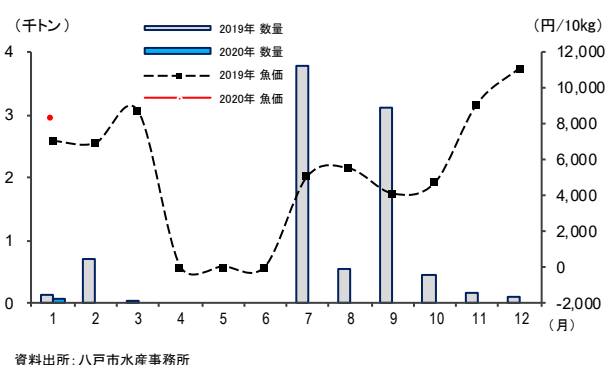
1月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比19.4%減の634トン、金額は同22.9%減の2億5,775万円となった。

イカ釣り漁は、近海スルメイカが好調であったものの、船凍スルメイカが不調だったことなどから、数量が同61.6%減の53トン、金額は同55.0%減の4,348万円となった。大型まき網漁は、八戸港への水揚げがなかった。機船底引き網漁は、単価の高いスルメイカが順調だったものの、しけによる操業日数減少と他魚種の不振により、数量が前年同月比10.5%減の401トン、金額は同10.5%減の1億3,662万円となった。

### ● 八戸港水揚げ高



### ● イカの水揚げ数量と魚価



# 二次産業

## 鉱工業生産

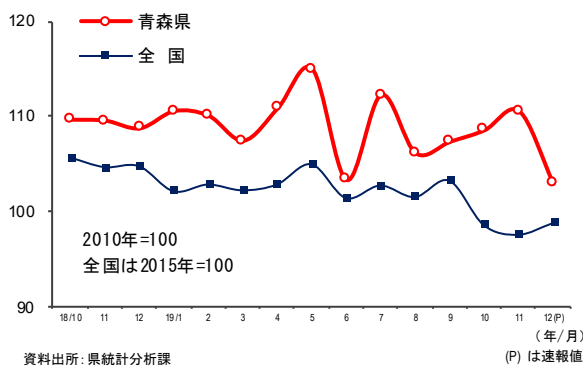
生産用機械、業務用機械など低下し、4カ月ぶりに低下

12月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比6.9%低下の102.9となり、4カ月ぶりに低下した。

生産用機械が前月比70.1%、輸送機械が同24.4%低下したほか、主要6業種では、業務用機械が同21.7%、鉄鋼業が同13.0%、パルプ・紙が同12.2%などと低下した。一方、ウエートの大きい食料品は同0.5%上昇したほか、電子部品・デバイスは同6.4%、電気機械は同6.0%などと上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、輸送機械が同19.9%低下したほか、主要6業種では、ウエートの大きい食料品が同1.7%、業務用機械が同23.8%、鉄鋼が同17.0%、電気機械が同9.2%、パルプ・紙が同6.2%などと低下した。一方、電子部品・デバイスは同23.8%上昇した。全体では同3.4%低下の106.4と3カ月連続で前年同月を下回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (2019年12月)

業種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	2010年 =100	前月比 (%)	2010年 =100	前年同 月比 (%)
鉱工業 (10,000.0)	102.9	△ 6.9	106.4	△ 3.4
食料品 (2,410.0)	103.4	0.5	123.1	△ 1.7
鉄鋼 (1,200.9)	92.2	△ 13.0	94.8	△ 17.0
電子部品・デバイス (1,048.2)	171.2	6.4	166.3	23.8
業務用機械 (1,005.1)	88.2	△ 21.7	84.7	△ 23.8
パルプ・紙 (722.3)	69.3	△ 12.2	72.8	△ 6.2
電気機械 (429.2)	128.3	6.0	117.7	△ 9.2

資料出所: 県統計分析課

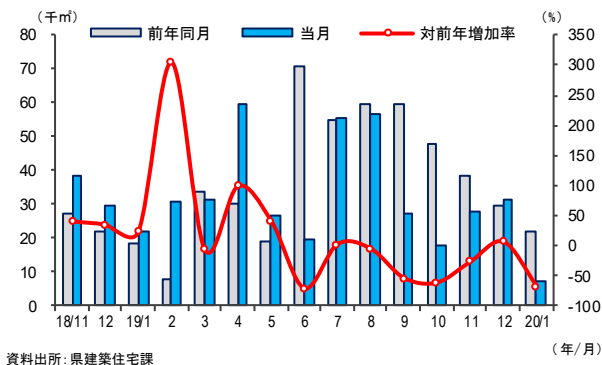
## 設備投資

建築物着工床面積(民間非居住用)、2カ月ぶりにマイナス

1月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比67.8%減の7,147㎡となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、その他のサービス業用計が同84.7%減の1,456㎡、卸・小売業用が同82.1%減の885㎡、農林水産業用が同73.3%減の1,281㎡、製造業、鉱業、建設業用が同71.6%減の621㎡などとなった。一方、教育、学習支援業用は同323.8%増の2,246㎡、医療、福祉用は全増の571㎡などとなった。

### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2020年1月 (㎡)	2019年1月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	1,281	4,800	△ 73.3
製造業、鉱業、建設業用	621	2,186	△ 71.6
卸・小売業用	885	4,937	△ 82.1
運輸・通信業用	41	0	全増
教育、学習支援業用	2,246	530	323.8
医療、福祉用	571	0	全増
その他のサービス業用計	1,456	9,506	△ 84.7
他に分類されない建築物	46	256	△ 82.0
合計	7,147	22,215	△ 67.8

資料出所: 県建築住宅課

# 二次産業

## 公共工事

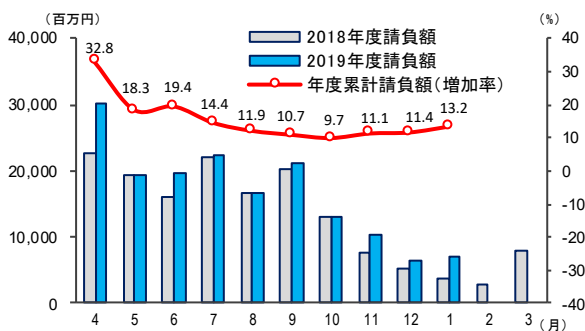
国が減少するも、県・市町村が増加し、5カ月連続のプラス

1月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比81.2%増の70億200万円となり、5カ月連続のプラスとなった。

発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)は、防衛省などが減少し、同39.7%減の9億1,600万円となった。県は県土整備部などが増加し、同37.0%増の18億2,100万円となった。市町村は、平川市やつがる市などで減少したものの、青森市や田舎館村などで増加し、同345.9%増の41億1,400万円となった。

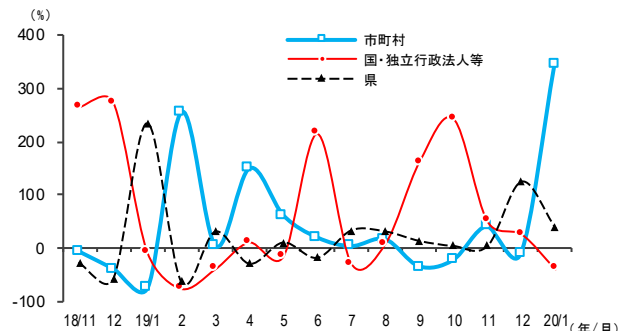
なお1月迄の2019年度累計請負金額は、同13.2%増の1,667億2,700万円となった。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月比増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

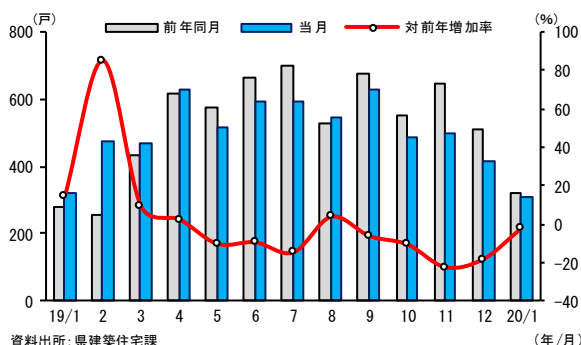
## 住宅着工

新設住宅着工戸数、5カ月連続のマイナス

1月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比2.5%減の312戸となり、5カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同12.4%減、貸家が同59.8%減、給与住宅が同全増、分譲住宅が同1.9%増となった。

地域別にみると、全体では八戸市や六ヶ所村などで増加したものの、青森市や弘前市などで減少した。持家は、つがる市や藤崎町などで増加したものの、六戸町や八戸市、むつ市などで減少した。貸家は、六ヶ所村やむつ市などで増加したものの、青森市や弘前市などで減少した。給与住宅は八戸市で増加した。分譲住宅は、青森市や鶴田町などで減少したものの、おいらせ町や平川市などで増加した。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2020年 1月	2019年 1月	前年 同月比
持家	141	161	△ 12.4
貸家	43	107	△ 59.8
給与住宅	75	0	全増
分譲住宅	53	52	1.9
総戸数	312	320	△ 2.5

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

## 百貨店・スーパー販売

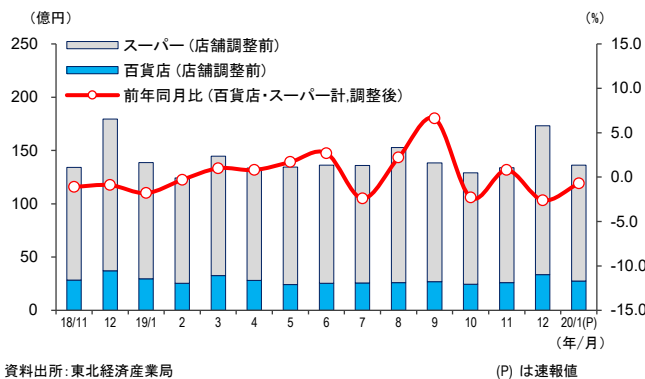
百貨店 2 カ月ぶりプラス、スーパー 2 カ月連続マイナス

1月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、既存店)は、前年同月比0.7%減と2カ月連続のマイナスとなった。

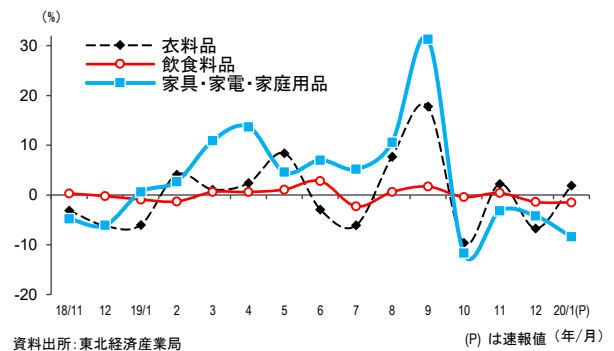
業態別では、百貨店が前年同月比2.0%増と2カ月ぶりにプラス、スーパーは同1.3%減と2カ月連続のマイナスとなった。なお一部店舗の長期休業の影響下にある百貨店の全店ベース売上高は、同6.7%減となった。

品目別では、ボリュームの大きい飲食料品は百貨店が同0.2%の微増となったものの、スーパーは同1.7%減と前年を下回った。衣料品は、暖冬の影響から冬物衣料が伸び悩んだものの、その反面、春物衣料が動き出し、百貨店が同2.4%増、スーパーが同1.3%増となった。家具・家電・家庭用品は、消費税増税の影響下にあり、両業態合計で同8.4%減となった。

### ● 百貨店・スーパー販売動向



### ● 品目別売上高(既存店、増加率)



## 各種小売業態販売額

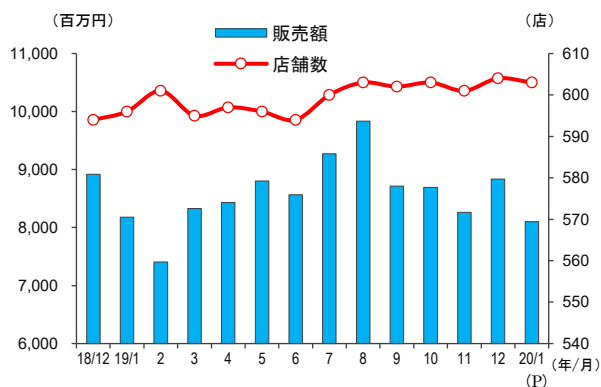
家電大型専門店、ドラッグストア、前年比プラス

1月の各種小売業販売額は、家電大型専門店、ドラッグストアは前年を上回ったものの、コンビニエンスストア、ホームセンターでは前年割れとなり、明暗を分ける結果となった。

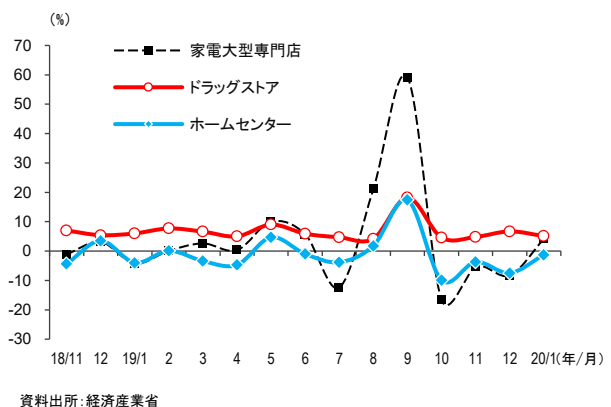
コンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比1.0%減の80億9,900万円と2カ月連続のマイナスとなった。また、その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)では、家電大型専門店が、Windows7のサポート終了に伴うパソコンの買い替え需要や、白物家電に動きが見られたことなどから4.1%増となり、4カ月ぶりのプラスとなった。ドラッグストアは食料品需要等を他業態から取込む流れが持続しており同5.1%増とプラス基調が継続している。一方、ホームセンターは、同1.3%減と4カ月連続の前年割れとなった。

(注) 本項はすべて速報値である。

### ● コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### ● その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

## 自動車販売

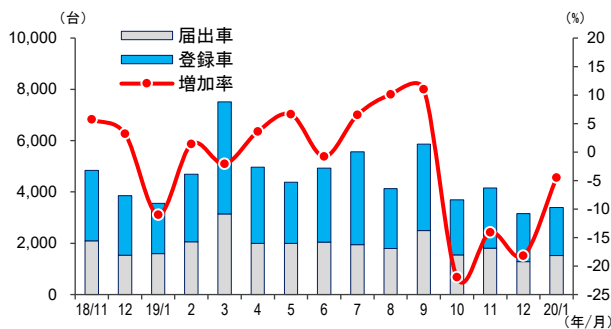
乗用車販売台数、4カ月連続マイナス

1月の自動車販売台数は、登録車が前年同月比4.4%減と4カ月連続のマイナス、届出車(軽自動車)が同4.6%減と4カ月連続のマイナスとなった。この結果、新車販売合計は同4.5%減の3,399台と、4カ月連続で前年同月を下回った。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が前年同月比0.3%増と4カ月ぶりのプラス、小型乗用車は同2.9%減と4カ月連続のマイナスとなった。また、届出乗用は同0.8%増と4カ月ぶりにプラスとなった。この結果、乗用車の登録・届出車合計販売台数は同0.6%減の2,757台と4カ月連続で前年割れとなった。

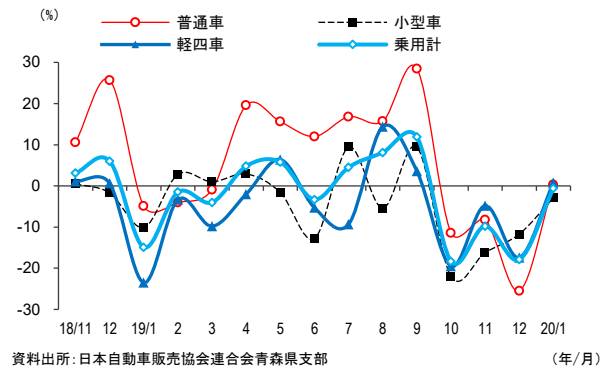
なお登録貨物車は同25.2%減、届出貨物車は同17.6%減と、共に4カ月連続でマイナスとなっている。総じて1月の自動車販売は消費増税の影響下にあり、不冱えな状況が続いている。

### 自動車販売動向



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 乗用車販売動向(増加率)



資料出所: 日本自動車販売協会連合会青森県支部

## 観光動向

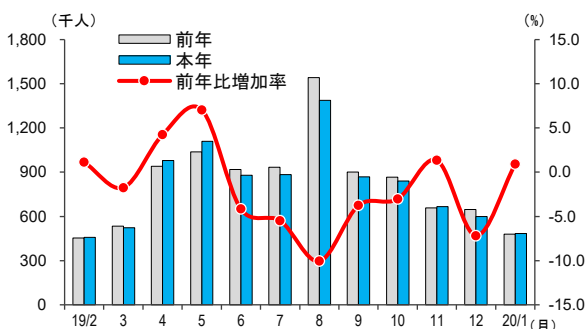
入込数2カ月ぶり、宿泊者数6カ月ぶり、それぞれプラス

1月の県内観光動向は、観光施設入込数が2カ月ぶりに、宿泊者数は6カ月ぶりに、それぞれプラスとなった。

県内観光施設35カ所の入込数は、前年同月比0.9%増の48万3,658人と、2カ月ぶりに前年実績を上回った。施設別では、青森県立美術館(同55.0%増)、八甲田丸(同16.1%増)、アスパム(同14.5%増)、浅虫水族館(同13.3%増)などは増加した。一方、太宰治記念館「斜陽館」(同12.7%)、八食センター(同5.8%減)などは減少した。

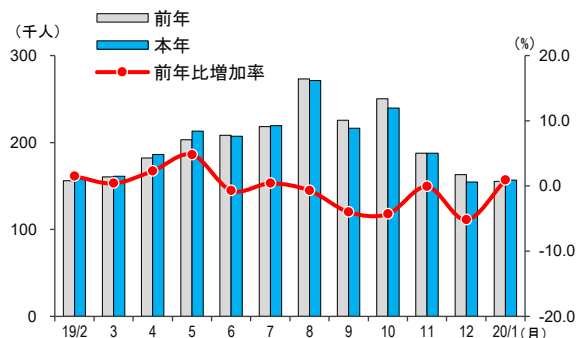
また、県内78施設の宿泊者数は、前年同月比0.9%増の15万6,833人と、6カ月ぶりに前年実績を上回った。地域別では、上北地域(9施設)が同12.4%増の3万4,406人、弘前市内(17施設)が同3.3%増の3万3,216人、青森市内(12施設)が同1.4%増の2万4,765人などと増加した。

### 県内35施設入込数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課

### 県内78施設宿泊者数



資料出所: 県観光国際戦略局観光企画課



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

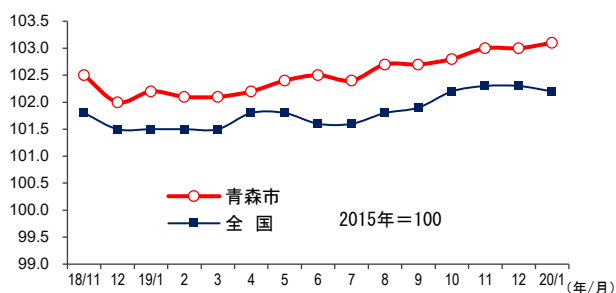
前月比 0.1%上昇、食料、交通・通信など上昇

1月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は、前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.8%上昇の 103.1 となった。

主要費目別に前月と比べると、ウエートの大きい「食料」が、生鮮魚介や生鮮果実などの値上がりにより同 0.5%、「交通・通信」がガソリンなどの値上がりにより同 0.6%、「光熱・水道」が灯油の値上がりにより同 0.5%、それぞれ上昇した。一方、「被服及び履物」が衣料などの値下がりにより 3.7%、「家具・家事用品」が寝具類などの値下がりにより同 1.0%、「教養娯楽」が教養娯楽サービスなどの値下がりにより同 0.3%、「諸雑費」が理美容用品などの値下がりにより同 0.2%、それぞれ低下した。

生鮮食品を除く総合指数は、前月比横ばい、前年同月比 0.8%上昇の 103.1 となった。

### ● 消費者物価指数



資料出所：県統計分析課

### ● 費目別指数の動き(2020年1月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.1	0.1	0.8
生鮮食品を除く総合指数	103.1	0.0	0.8
食料	106.4	0.5	1.7
住居	101.4	0.0	1.2
光熱・水道	104.8	0.5	0.3
家具・家事用品	103.6	△ 1.0	1.7
被服及び履物	103.5	△ 3.7	3.4
保健医療	102.8	0.0	0.2
交通・通信	100.1	0.6	1.2
教育	98.4	0.0	△ 4.2
教養娯楽	103.9	△ 0.3	2.4
諸雑費	97.7	△ 0.2	△ 5.4

資料出所：県統計分析課

## 雇用動向

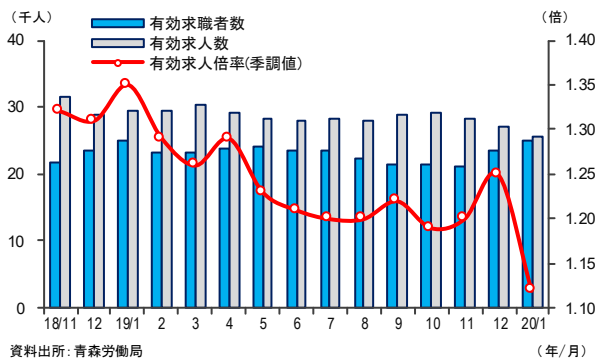
有効求人倍率 1.12 倍、前月比 0.11 ポイント低下

1月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比 13.3%減の 2万 5,475 人、有効求職者数は同 0.7%増の 2万 5,042 人となった。有効求人倍率(季節調整値)は 1.12 倍となり前月比 0.11 ポイント低下した。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比 17.1%減、臨時・季節求人数が同 31.6%減、パート求人数が同 25.2%減となり、全数では同 21.4%減の 9,023 人となった。新規求人倍率(季節調整値)は 1.47 倍となり前月比 0.33 ポイント低下となった。

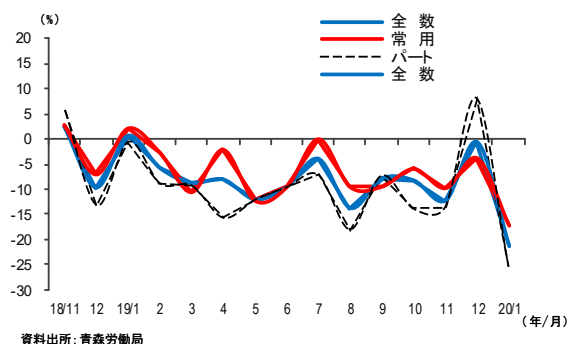
主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、建設業、製造業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、教育、学習支援業、医療、福祉、サービス業(他に分類されないもの)など幅広い業種で減少した。一方、複合サービス事業、電気・ガス・熱供給・水道業などでは増加がみられた。

### ● 有効求人倍率



資料出所：青森労働局

### ● 新規求人数の増加率



資料出所：青森労働局

# 物価・雇用・金融

## 企業倒産

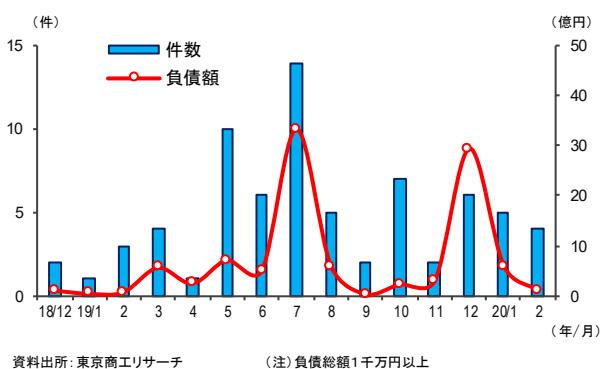
倒産件数、5カ月連続で前年を上回る

2月の県内企業倒産は、件数が4件、負債総額が1億2,100万円となり、前年同月比で件数が1件(33.3%)増、負債総額が4,100万円(51.3%)増だった。前月比では件数が1件(20.0%)減、負債総額が4億7,600万円(79.7%)減となった。件数は、前年比で1件の増加となり5カ月連続で前年を上回った。負債総額は、発生した倒産全てが1億円未満の小規模倒産であり前月比では減少したものの、前年同月も小規模な倒産のみだったことから、結果として前年は上回った。

地区別では、八戸市で2件、青森市、つがる市で各1件の発生だった。業種は製造業が2件、卸売業と不動産業が各1件ずつだった。原因は他社倒産の余波、販売不振、売掛金回収難、その他が各1件ずつだった。

なお2月の従業員被害者数は7人となり、1月からの累計で21人となった。

### ● 企業倒産状況



### ● 業種別・原因別件数 (2020年2月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業	0	放漫経営	0
建設業	0	過小資本	0
製造業	2	他社倒産の余波	1
卸売業	1	既往のシワ寄せ	0
小売業	0	信用低下	0
金融・保険業	0	販売不振	1
不動産業	1	売掛金回収難	1
運輸業	0	在庫状況悪化	0
情報通信業	0	設備投資過大	0
サービス業 他	0	その他	1
合計	4	合計	4

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

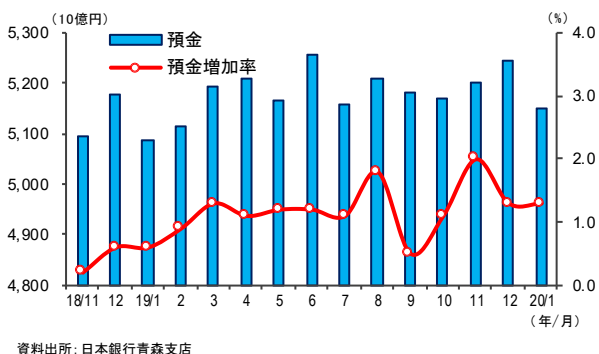
預金 81カ月連続プラス、貸出金 8カ月連続マイナス

1月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高は、実質預金が前年同月比1.3%増の5兆1,505億円、貸出金は同0.5%減の3兆611億円となった。

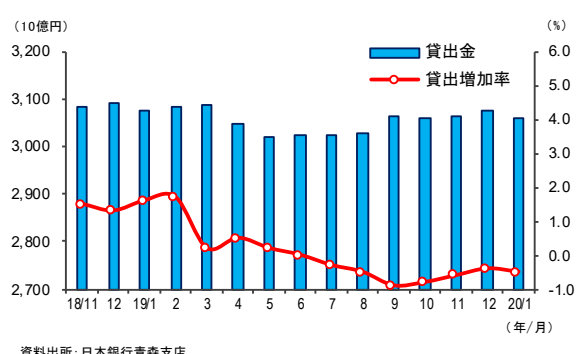
預金は、個人預金、法人預金の増加から前年を上回り、81カ月連続のプラスとなった。預金全体のプラス幅は前月比横ばいだった。

貸出金は、概ね横ばいながら前年を幾分下回り、8カ月連続のマイナスとなった。貸出金全体のマイナス幅は前月比0.1ポイント増加した。

### ● 預金の推移



### ● 貸出金の推移



# 国内景気

## 概況

—国内景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増した状態が続いているものの、緩やかに回復している。—

個人消費は持ち直している。設備投資は緩やかな増加傾向にあるものの、一部に弱さがみられる。住宅建設は弱含み。公共投資は堅調に推移している。輸出は弱含み。輸入は、このところ弱含み。貿易・サービス収支は、黒字。生産は、引き続き弱含み。企業収益は高水準ながら製造業を中心に弱含み。企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重さが増加。倒産件数は、このところ増加。雇用情勢は改善。国内企業物価はこのところ横ばい。消費者物価はこのところ上昇テンポが鈍化。

## 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 1.4%減と減少—

1月の百貨店・スーパー販売額は1兆6,064億円(速報)となり、既存店ベースでは前年同月比1.4%減となった。業態別にみると、百貨店が同1.8%減、スーパーが同1.3%減となった。商品別にみると、衣料品が同4.0%減、飲食料品が同0.5%減、その他商品が同1.3%減。

## 住宅建設

—前年同月比 10.1%減、7カ月連続で減少—

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.1%減の6万341戸と7カ月連続で減少した。利用関係別では、持家が同13.8%減と6カ月連続の減少、貸家が同2.5%減と17カ月連続の減少、分譲住宅が同14.6%減と3カ月連続の減少となった。

## 企業倒産

—1月負債総額、30年間で2番目の低水準—

1月の企業倒産は、件数が前年同月比16.0%増の773件、負債総額は同25.9%減の1,247億3,400万円となった。倒産件数は5カ月連続で前年同月を上回ったものの、1月では91年以降の30年間で7番目に少ない件数だった。負債総額は3カ月ぶりに前年同月を下回り、91年以降の30年間では2番目の低水準となった。1億円未満が573件と全体の74.1%を占めるなど、小・零細企業を中心にした状況が、負債総額の低さの要因になっている。

## 為替動向

—2月末終値 108円83銭—

2月の東京外国為替市場は、前月末比0.41円高の108.62円でスタート。上旬は、新型肺炎拡大に伴う中国の経済対策への期待から円が売られる展開が優勢だった。中旬は109円台の落ち着いた値動きが続いた。下旬は一転、新型肺炎が世界景気の下押し要因となるとの見方が広がり、円を買う動きが広がった。

月末終値は108.83円。

## 鉱工業生産指数

—2カ月連続の上昇、前月比0.8%上昇—

1月の鉱工業生産指数は前月比0.8%上昇の99.6(速報、季節調整値)と2カ月連続の上昇となった。原指数は前年同月比2.5%低下の93.9となった。前月比では、自動車、輸送機械(除、自動車工業)その他工業等が上昇した一方、生産用機械、はん用・業務用機械、電気・情報通信機械などは低下した。

なお2月は電子部品・デバイス、化学、輸送機械などの上昇により前月比5.3%の上昇を予測している。

## 新車販売(除く軽自動車)

—4カ月連続の低下、前年同月比11.1%減—

1月の国内新車販売は前年同月比11.1%減の22万1,464台と4カ月連続で低下した。乗用車が同11.5%減、貨物車が同8.4%減となった。乗用車は普通乗用車が同10.8%減と4カ月連続の減少、小型乗用車は同12.2%減と14カ月連続の減少となった。

## 完全失業率

—完全失業率 2.4% 前月比0.2ポイント上昇—

1月の完全失業率(季節調整値)は、前月比0.2ポイント上昇の2.4%となった。完全失業者数は前年同月比7万人減の159万人となり、3カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比2万人減の20万人、自己都合が同3万人減の69万人などとなった。

## 消費者物価指数

—前年同月比0.7%上昇の102.2—

1月の消費者物価指数は総合指数が前年同月比0.7%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの102.2となった。前年同月に比べ、すし(外食)、アイスクリーム、焼き魚、火災・地震保険料、ガソリン、普通運賃(JR)、トレーニングパンツ、インターネット接続料などが上昇し、たまねぎ、携帯電話通信料、幼稚園・保育所保育料などは下落した。10月1日からの幼児教育無償化実施の影響がみられた。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比0.8%上昇、前月比(季節調整値)0.1%上昇の102.0となった。

## 国際収支

—経常収支、前年同月比6.6%増—

1月の経常収支額は前年同月比6.6%増の6,123億円となった。第一次所得収支が黒字幅を拡大したことから、黒字幅を拡大した。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が1兆1,478億円の赤字、第一次所得収支が1兆8,476億円の黒字、第二次所得収支が875億円の赤字となった。

県内

1/31 2019年転出超過数、6,044人

総務省の「住民基本台帳人口移動報告 2019年結果」によると、本県は転出者が前年比 1.3%減の 2万 3,440人、転入者が同 0.4%減の 1万 7,396人となった。この結果、転出超過数は同 3.8%減の 6,044人に縮小した。なお、都道府県別で転出超過数が縮小したのは、12道県となった。

外国人労働者数、過去最高を更新

青森労働局によると、2019年10月末現在県内の外国人労働者数は、前年比 764人増の 3,901人となった。国籍別では、ベトナム 1,807人(構成比 46.3%)、中国 975人(同 25.0%)、フィリピン 317人(同 8.1%)などの順。産業別では、製造業 1,819人(構成比 46.6%)、卸・小売業 403人(同 10.3%)、農業 342人(同 8.8%)などの順となっている。

2/6 上北自動車道路 2022年全線開通予定 八戸—青森間 1時間 32分

国土交通省は、青森市と八戸市を結ぶ高規格道路の一部として国が整備中の上北自動車道路のうち、完成時期が未定だった七戸町の天間林道路の開通時期を 2022年内とする見通しを公表した。上北自動車道路の全線開通で、青森—八戸間の所要時間は整備前から約 30分短縮される見通しである。

2/20 2020年度県当初予算案、2年連続プラス

県が発表した 2020年度当初予算案によると、一般会計は前年度比 2.5%増の 6,816億円と、2年連続で前年度を上回った。

2/26 大韓航空、青森—ソウル便 約3カ月運休へ

大韓航空は新型肺炎の流行拡大から、青森—ソウル便を 3月 8日から 5月 31日まで運休すると発表した。

国内

2/7 景気動向指数、基調判断 5カ月連続「悪化」

内閣府が発表した 12月の景気動向指数(2015年=100)によると、景気の現状を示す一致指数は前月比横ばいの 94.7となった。なお、同指数の変化から機械的に決定される景気の基調判断は 5カ月連続の「悪化」となった。

2/10 2019年の経常黒字、20兆 597億円

財務省が発表した 2019年の国際収支速報によると、モノやサービス、配当など海外との総合的な取引状況を示す経常収支は、前年比 8,375億円増の 20兆 597億円の黒字となった。米中貿易摩擦などの影響で貿易黒字額は減少したが、訪日外国人の消費が増えたことなどが寄与した。

街角景気、現状判断指数 3カ月連続改善

内閣府が発表した 1月の景気ウォッチャー調査によると、足元の景況感を示す現状判断指数(季節調整値)は前月比 2.2ポイント上昇の 41.9と、3カ月連続で改善した。

2/17 2019年 10~12月期 GDP、年率換算 6.3%減

内閣府の 2019年 10~12月期 GDP(季節調整値)速報値によると、物価変動を除く実質で前期比 1.6%減、このペースが 1年間続くと仮定した年率換算では 6.3%減と、5四半期ぶりにマイナス成長となった。

2/19 機械受注、前月比 12.5%減

内閣府が発表した 12月の機械受注統計によると、電力・船舶を除く民需は前月比 12.5%減の 8,248億円となり、10~12月期では前期比 2.1%の減少となった。

貿易収支、3カ月連続の赤字

財務省の 1月の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は、自動車や建設用・鉱山用機械などの輸出が減少し 1兆 3,126億円の赤字となった。赤字は 3カ月連続である。

2/20 月例経済報告、総括判断維持

政府は、2月の月例経済報告で、景気の全体像を示す総括判断を「緩やかに回復している」と据え置いた。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券発行高 (平均残高) (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	景気動向 指数(一致) 2015年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2015年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2015(H27)	984,300	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	100.0	100,891	149,257
2016(H28)	1,024,612	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	100.0	102,600	154,200
2017(H29)	1,067,165	763,244	505,238	0.946	-	98.7	100.4	103.1	101,431	157,209
2018(H30)	1,103,625	779,084	515,480	0.901	-	101.3	101.3	104.2	105,091	144,020
2019(H31/R1)	1,127,418			0.861	-	101.5	101.8	101.2	104,323	158,582
2018(H30) 11	1,050,606	779,129	511,618	0.909	102.3	102.1	101.8	104.6	8,649	10,238
12	1,077,249	779,084	515,480	0.901	101.2	101.4	101.5	104.7	8,736	10,737
2019(H31) 1	1,079,375	776,081	512,080	0.900	100.5	100.9	101.5	102.1	8,340	10,843
2	1,066,271	776,595	512,069	0.898	101.6	101.2	101.5	102.8	8,445	10,291
3	1,072,160	792,224	518,432	0.891	101.0	101.5	101.5	102.2	8,673	23,228
4	1,087,111	793,654	518,441	0.888	101.7	101.9	101.8	102.8	9,212	8,921
(R1) 5	1,087,770	793,065	516,238	0.886	102.4	101.8	101.8	104.9	8,776	9,303
6	1,069,431	790,515	518,180	0.882	99.3	101.2	101.6	101.4	9,459	15,452
7	1,074,323	790,157	517,408	0.879	99.5	101.1	101.6	102.7	8,895	15,257
8	1,074,413	789,234	517,578	0.877	98.9	100.9	101.8	101.5	8,720	13,255
9	1,071,112	793,118	520,476	0.871	100.7	100.9	101.9	103.2	8,549	16,653
10	1,071,156	795,745	519,379	0.871	96.1	102.1	102.2	98.6	8,279	13,347
11	1,073,738	800,154	521,495	0.868	95.2	102.2	102.3	97.6	9,261	10,970
12	1,099,548	799,574	524,663	0.861	94.4	102.3	102.3	98.8	8,157	11,061
2020(R2) 1	1,103,450	800,114	524,320	0.858	P 94.7	P 102.4	102.2	P 99.6	8,394	8,739
前月比%	0.4	0.1	-0.1	-0.003ポイント	0.3ポイント	0.1	0.0	0.8	2.9	-21.0
前年同月比%	2.2	3.1	2.4	-0.042ポイント	-	1.5	0.7	-2.5	-0.3	-19.4
資料出所	日本銀行			内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省	

※日銀券発行高の年次は年末残高の数値

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・ スーパー 販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経 平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) 1970年=100
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	165,194	121.09	19,033.71	160.852
2016(H28)	967,237	4,146	195,979	8,446	20,061	3.1	213,910	108.77	19,114.37	168.833
2017(H29)	964,641	4,386	196,025	8,405	31,676	2.8	226,067	112.16	22,764.94	184.488
2018(H30)	942,370	4,391	196,044	8,235	14,855	2.4	192,222	110.40	20,014.77	180.684
2019(H31/R1)	905,123	4,301	193,962	8,383	14,232	2.4	P 200,597	109.01	23,656.62	178.847
2018(H30) 11	84,213	357	16,437	718	1,213	2.5	8,211	113.37	22,351.06	182.523
12	78,364	320	20,825	622	818	2.4	4,644	112.45	20,014.77	180.684
2019(H31) 1	67,087	342	16,327	666	1,684	2.5	5,743	108.95	20,773.49	180.567
2	71,966	401	14,350	589	1,955	2.3	25,928	110.36	21,385.16	183.091
3	76,558	533	16,529	662	971	2.5	27,871	111.21	21,205.81	183.632
4	79,389	315	15,359	645	1,069	2.4	16,626	111.66	22,258.73	183.527
(R1) 5	72,581	327	15,636	695	1,075	2.4	16,501	109.83	20,601.19	182.033
6	81,541	367	15,982	734	870	2.3	12,549	108.06	21,275.92	181.001
7	79,232	379	16,246	802	934	2.2	20,284	108.22	21,521.53	179.303
8	76,034	317	15,893	678	871	2.2	21,517	106.27	20,704.37	176.139
9	77,915	459	16,721	702	1,130	2.4	15,802	107.41	21,755.84	176.796
10	77,123	260	14,572	780	886	2.4	18,168	108.12	22,927.04	178.414
11	73,523	316	16,113	727	1,225	2.2	P 14,368	108.86	23,293.91	177.232
12	72,174	284	20,234	704	1,569	2.2	P 5,240	109.18	23,656.62	178.847
2020(R2) 1	60,341	301	P 16,064	773	1,247	P 2.4	P 6,123	109.34	23,205.18	177.631
前月比%	-16.4	6.0	-1.9	9.8	-20.5	0.2ポイント	-	0.1	-1.9	-0.7
前年同月比%	-10.1	-12.1	-1.4	16.1	-25.9	-0.1ポイント	6.6	0.4	11.7	-1.6
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日本経済新聞社		

※百貨店・スーパー販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		銀行券 受払高 (支払-受入) (億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額 (百万円)		企業倒産 (負債額1,000万円以上)	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)	
2015 (H27)	1,308,265	-6,278	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,293,681	-5,906	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2017 (H29)	1,278,581	-5,722	3,073	51,283	30,828	110.3	171,167	71,311	44	8,926
2018 (H30)	1,262,815	-5,820	3,292	51,955	30,877	109.9	158,202	60,779	44	9,426
2019 (H31/R1)	1,246,291	-6,048				108.5			61	9,622
2018 (H30) 11	1,262,049	-36	294	50,968	30,814	109.5	7,807	2,557	1	13
12	1,261,169	-147	701	51,768	30,892	108.7	5,293	754	2	114
2019 (H31) 1	1,260,124	-111	-110	50,854	30,765	110.5	3,864	1,329	1	51
2	1,258,753	-586	239	51,165	30,820	110.0	2,855	902	3	80
3	1,257,081	-5,772	275	51,955	30,877	107.4	8,063	5,616	4	565
4	1,250,444	856	637	52,084	30,485	110.8	30,114	9,352	1	254
(R1) 5	1,250,387	-68	-74	51,664	30,183	114.9	19,489	3,561	10	721
6	1,249,314	-272	329	52,589	30,221	103.3	19,754	5,459	6	508
7	1,248,340	93	274	51,601	30,230	112.2	22,472	7,915	14	3,319
8	1,247,658	75	284	52,102	30,258	106.1	16,775	6,618	5	602
9	1,246,877	261	227	51,840	30,619	107.3	21,293	12,045	2	43
10	1,246,291	-86	551	51,703	30,595	108.5	13,086	4,892	7	238
11	1,245,302	88	248	52,013	30,628	110.5	10,430	2,644	2	310
12	1,244,404	-106	532	52,443	30,759	P 102.9	6,307	1,688	6	2,931
2020 (R2) 1	1,243,281	-150	-132	51,505	30,611		7,002	1,821	5	597
2	1,241,901		304						4	121
前月比 %	-0.1	-	-	-1.8	-0.5	-6.9	11.0	7.9	-20.0	-79.7
前年同月比%	-1.3	-	-	1.3	-5.0	-3.4	81.2	37.0	33.3	51.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店			県統計分析課	東日本建設業保証		東京商工リサーチ	

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値、社会動態の年次は前年10月から当年9月まで、月は月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

年次及び月	新車登録 台数(台)	乗用車 登録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (㎡)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額(円) (青森市)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与 総額(円)	総実労働 時間(時間)
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	585,836	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	650,614	99.5	265,004	252,236	152.5
2017 (H29)	33,776	46,625	6,509	3,703	2,234	651,725	100.5	269,221	262,558	155.5
2018 (H30)	32,856	45,769	6,431	3,813	1,901	655,052	101.9	274,905	258,198	153.9
2019 (H31/R1)	32,884	44,958	6,174	3,772	1,734	796,245	102.5	284,225		
2018 (H30) 11	2,746	3,634	644	355	216	62,561	102.5	283,832	237,535	157.9
12	2,321	2,974	508	275	171	50,466	102.0	309,005	439,416	152.9
2019 (H31) 1	1,966	3,157	320	161	107	30,057	102.2	289,682	226,406	140.4
2	2,630	3,729	475	169	262	40,133	102.1	268,675	222,455	144.8
3	4,375	5,852	470	252	177	44,579	102.1	374,056	228,090	148.1
4	2,969	4,041	630	478	93	75,535	102.2	277,800	229,855	152.9
(R1) 5	2,378	3,415	514	379	87	97,405	102.4	289,743	240,340	143.6
6	2,879	3,809	596	435	115	65,843	102.5	334,732	333,254	151.7
7	3,624	4,439	592	367	141	61,359	102.4	341,615	282,592	157.3
8	2,329	3,169	548	336	159	135,866	102.7	264,499	238,878	148.6
9	3,374	4,618	631	341	226	64,057	102.7	284,452	223,198	152.4
10	2,145	3,009	489	291	149	88,474	102.8	194,777	225,680	154.0
11	2,349	3,279	496	303	128	50,620	103.0	242,927	242,446	153.7
12	1,866	2,441	413	260	90	42,317	103.0	247,741	421,029	152.8
2020 (R2) 1	1,879	2,757	312	141	43	27,002	103.1	277,006		
前月比 %	0.7	12.9	-24.5	-45.8	-52.2	-36.2	0.1	11.8	73.6	-0.6
前年同月比%	-4.4	-12.7	-2.5	-12.4	-59.8	-10.2	0.8	-4.4	-4.2	-0.1
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア 販売額 (百万円)	家電大型 専門店 販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホーム センター 販売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/kg)	産地価格 (円/kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	306	222	99,312	23,436
2017 (H29)	169,344	99,007	26,738	51,086	51,254	262,705	335	214	99,972	19,990
2018 (H30)	168,037	100,902	26,675	54,561	50,377	278,484	310	215	108,192	18,120
2019 (H31/R1)									66,117	14,759
2018 (H30) 11	13,418	8,167	2,044	4,450	4,266	22,322	282	219	24,003	3,711
12	17,941	8,920	2,902	4,925	5,142	27,152	328	174	13,954	2,336
2019 (H31) 1	13,855	8,181	2,539	4,753	3,265	34,827	298	169	787	334
2	12,409	7,404	1,783	4,366	2,847	35,404	278	163	1,294	700
3	14,461	8,329	2,697	4,463	3,644	34,136	266	151	427	149
4	13,349	8,432	1,877	4,760	4,701	31,397	281	255	709	240
(R1) 5	13,406	8,804	2,027	4,870	5,028	20,317	349	-	988	249
6	13,610	8,565	2,084	4,874	4,127	13,824	394	-	847	241
7	13,593	9,271	2,345	5,029	4,301	10,331	440	-	4,821	2,144
8	15,291	9,836	2,628	5,248	4,642	2,695	456	-	4,208	1,677
9	13,828	8,715	3,429	5,424	4,537	20,734	289	178	12,528	3,266
10	12,895	8,692	1,652	4,816	3,742	26,055	295	248	19,790	2,159
11	13,391	8,264	1,937	4,664	4,110	22,788	327	233	13,129	2,111
12	17,309	8,838	2,661	5,256	4,758	26,806	377	223	6,588	1,488
2020 (R2) 1	P 13,625	P 8,099	P 2,644	P 4,994	P 3,224	29,907	348	230	634	258
前月比 %	-	-8.4	-0.6	-5.0	-32.2	11.6	-7.7	3.1	-90.4	-82.7
前年同月比%	-0.7	-1.0	4.1	5.1	-1.3	-14.1	16.8	36.1	-19.4	-22.9
資料出所	経済産業省					県りんご果樹課			八戸市水産事務所	

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー 調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)		
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-
2016 (H28)	1.13	1.57	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-
2017 (H29)	1.27	1.75	-	9,049	5,701	22,860	123,846	160,929	-	-
2018 (H30)	1.30	1.82	-	8,791	6,945	31,401	115,235	220,012	-	-
2019 (H31/R1)					5,569	41,397	119,680	173,963	-	-
2018 (H30) 10	1.31	1.75	5,417	639	860	2,456	11,830	14,730	44.3	0.0
11	1.33	1.88	5,141	595	175	2,966	12,424	18,916	-	
12	1.30	1.79	5,347	596	726	1,432	4,163	14,943	-	
2019 (H31) 1	1.32	1.86	8,193	1,268	322	3,629	10,106	15,430	46.7	-13.0
2	1.28	1.77	6,143	794	348	3,077	9,135	10,632	-	
3	1.27	1.78	5,269	628	229	1,942	15,503	14,782	-	
4	1.27	1.79	5,505	673	899	6,306	8,097	15,277	47.8	-12.2
(R1) 5	1.24	1.66	5,887	734	386	4,970	9,333	15,976	-	
6	1.23	1.64	5,865	654	588	6,137	14,576	10,604	-	
7	1.22	1.70	6,567	790	823	3,891	8,057	15,715	46.5	-1.3
8	1.22	1.73	6,505	783	321	2,113	9,393	14,502	-	
9	1.22	1.71	5,593	621	362	2,781	9,869	15,442	-	
10	1.22	1.75	5,462	687	636	2,289	9,446	14,164	40.2	-20.3
11	1.22	1.78	5,150	574	177	625	8,067	18,170	-	
12	1.23	1.80	5,611	633	477	3,585	8,097	13,120	-	
2020 (R2) 1	1.12	1.47	7,935	1,235	530	2,489	11,616	10,946	46.7	-
前月比 %	-0.11 ポイント	-0.33 ポイント	41.4	95.1	11.1	-30.6	43.5	-16.6	2.4 ポイント	-19.0 ポイント
前年同月比%	-0.20 ポイント	-0.39 ポイント	-3.1	-2.6	64.5	-31.4	14.9	-29.1	-	-
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署				県統計分析課	青森銀行

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設 入込客数 (人)	宿泊者数 (人)	青森空港 乗降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2015 (H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,298	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016 (H28)	9,885,612	1,512,154	1,061,995	14,904	378,634	535,657	459,793	-	-	-
2017 (H29)	9,980,972	2,359,381	1,137,982	15,396	377,619	553,031	486,259	-	-	-
2018 (H30)	9,916,288	2,381,412	1,172,886	16,565	381,907	534,367	491,088	-	-	-
2019 (H31/R1)	9,676,590	2,370,177	1,246,453	17,318	355,994	543,869	505,308	-	-	-
2018 (H30) 10	866,342	250,355	110,976	1,482	42,597	55,266	47,083	3.5	-1.5	-2.5
11	657,905	187,797	104,042	1,265	26,723	41,188	43,392			
12	646,376	163,037	85,903	1,269	24,390	37,673	40,020			
2019 (H31) 1	479,267	155,458	86,981	1,610	24,429	32,159	36,705	-8.3	-24.6	-8.6
2	457,901	158,377	81,277	1,411	24,259	34,254	35,455			
3	523,721	161,060	102,033	1,493	22,737	36,368	39,240			
4	980,094	186,234	95,074	1,231	27,109	47,466	42,180	-10.3	-21.7	-6.1
(R1) 5	1,110,532	213,154	109,202	1,394	30,048	49,256	45,434			
6	879,417	207,115	101,721	1,505	31,094	43,985	44,148			
7	883,067	219,264	109,983	1,481	31,650	48,722	44,179	-4.9	-7.2	7.2
8	1,387,724	271,254	130,867	1,721	43,404	61,517	52,731			
9	868,060	216,501	115,993	1,327	32,971	49,912	42,424			
10	840,091	239,583	113,264	1,491	39,575	57,375	44,581	-22.5	-17.1	-21.0
11	666,743	187,614	110,935	1,303	25,854	45,566	41,522			
12	599,973	154,563	89,123	1,351	22,864	37,289	36,709			
2020 (R2) 1	483,658	156,833	91,437	1,606	24,765	33,216	33,872	-	-	-
前月(期)比%	-19.4	1.5	2.6	18.9	8.3	-10.9	-7.7	-17.6ポイント	-9.9ポイント	-28.2ポイント
前年同月(期)比%	0.9	0.9	5.1	-0.2	1.4	3.3	-7.7	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県民生活文化課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内35施設合計

※宿泊者数は県内78施設合計 (2016年以前は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設)

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2015 (H27)	287,648	177,411	231,257	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016 (H28)	284,754	175,900	229,527	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2017 (H29)	282,032	174,287	227,778	8,324	4,119	7,049	1,718	1,075	1,519
2018 (H30)	279,133	172,447	225,463	8,288	3,783	6,695	1,479	1,069	1,441
2019 (H31/R1)	275,786	170,556	223,338	8,542	4,109	6,686	1,598	828	1,311
2018 (H30) 11	279,033	172,339	225,407	682	265	613	127	126	114
12	278,897	172,208	225,249	668	260	434	110	67	143
2019 (H31) 1	278,650	172,087	225,140	416	269	418	86	51	85
2	278,299	171,902	224,983	628	372	561	130	40	90
3	277,962	171,643	224,771	1,146	622	813	111	94	101
4	276,180	170,508	223,720	798	300	633	181	90	114
(R1) 5	276,823	170,863	223,822	574	276	480	109	66	131
6	276,567	170,766	223,666	732	363	591	168	75	112
7	276,309	170,706	223,516	1,022	396	791	131	61	152
8	276,158	170,663	223,545	616	317	458	119	86	111
9	275,943	170,560	223,446	799	445	674	196	93	124
10	275,786	170,556	223,338	600	238	449	116	64	88
11	275,646	170,445	223,257	639	266	496	168	65	98
12	275,507	170,365	223,107	572	245	322	83	43	105
2020 (R2) 1	275,351	170,268	222,910	431	238	394	42	27	139
2	275,032	170,101	222,752						
前月比%	-0.1	-0.1	-0.1	-24.7	-2.9	22.4	-49.4	-37.2	32.4
前年同月比%	-1.2	-1.0	-1.0	3.6	-11.5	-5.7	-51.2	-47.1	63.5
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		

※人口の年は10月1日、月は各1日現在の数値。